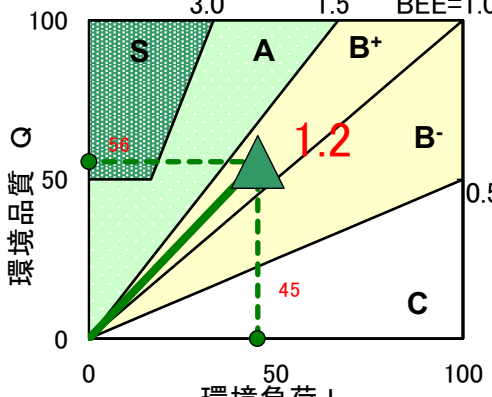
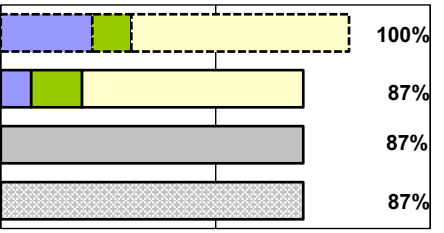
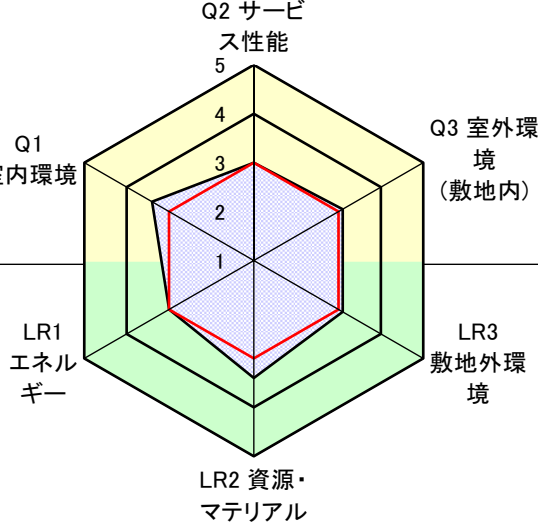
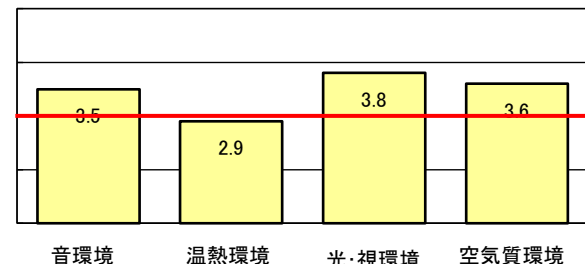
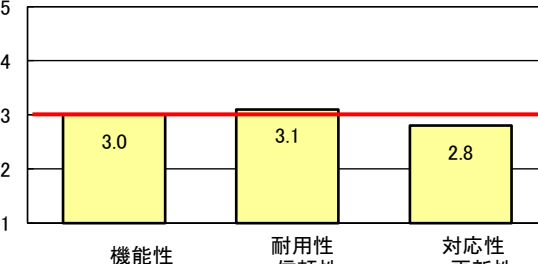
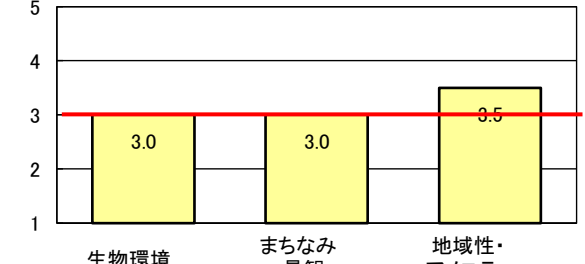
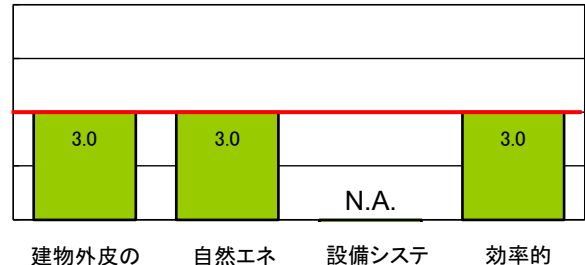
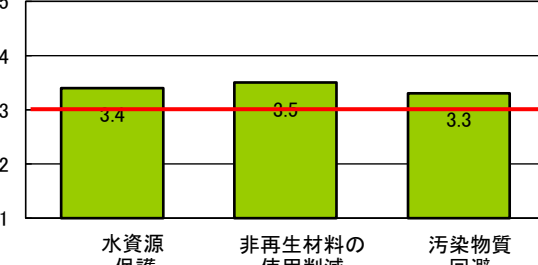
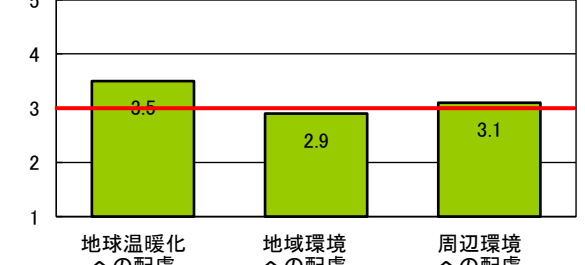


1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	(仮称)プレサンスロジェ栄三丁目(2217)新築工事	階数	地上15F	
建設地	名古屋市中区栄3丁目2215-1	構造	RC造	
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	239 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2023年10月 予定	評価の実施日	2021年12月15日	
敷地面積	737 m ²	作成者		
建築面積	419 m ²	確認日	2021年12月15日	
延床面積	5,235 m ²	確認者		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
= BEE1.2 ★:S:★★★★★ A:★★★★ B+:★★★ B-:★★ C:★ 	★☆☆ 100%超:☆☆☆ 100%:☆☆☆ 80%:☆☆☆☆ 60%:30% 標準計算 ■建設 ■修繕・更新・解体 ■運用 ■オンサイト ■オフサイト ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+オフサイト手法  (kg-CO₂/年・m²) このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q のスコア= 3.2		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1のスコア= 3.4	Q2のスコア= 3.0	Q3のスコア= 3.1
		
音環境	機能性	生物環境
温熱環境	耐用性・信頼性	まちなみ・景観
光・視環境	対応性・更新性	地域性・アメニティ
空気質環境		
LR 環境負荷低減性		
LR のスコア= 3.1		
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア= 3.0	LR2のスコア= 3.4	LR3のスコア=3.1
		
建物外皮の	水資源保護	地球温暖化への配慮
自然エネ	非再生材料の使用削減	地域環境への配慮
設備システ	汚染物質回避	周辺環境への配慮
効率的		

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
緑地を設けることにより、良好な景観を形成している。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
開口部遮音性能、界床遮音性能を向上させ、室内の音環境に配慮している。F☆☆☆☆の内装建材を採用し、室内空気質環境に配慮している。	躯体は劣化対策等級3相当とし、設備は耐用年数の長い配管材を採用するなど建物の耐用性・信頼性に配慮している。	敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。視線を遮らない様な樹木の配置、防犯カメラの設置など防犯性に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明設備を採用することで省エネルギーに配慮している。	リサイクル材を採用し、非再生資源の使用量を削減している。ノンフロン断熱材を採用するなど汚染物質含有材料の使用を回避している。	広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい

重点項目スコア・結果シート

(仮称)プレサンスロジェ栄三丁目(2217)新築工事

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				3.1
LR1	エネルギー	3.0	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.5	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.05	
2. 自然共生				3.2
Q3.1	生物環境の保全と創出	3.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	4.0	0.045	
3. 循環型社会				3.4
LR2.1	水資源保護	3.4	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.5	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.7	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 3.1



2. 自然共生

評価点 = 3.2



3. 循環型社会

評価点 = 3.4



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。